



Title	目で見るWHO 第94号 表紙・目次等
Author(s)	
Citation	目で見るWHO. 2025, 94, p. 1-1
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/103605
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

ISSN 2434-7205

目で見る WHO

2025 秋号

No.94

Visual Journal of Friends of
WHO Japan



公益社団法人

日本WHO協会

CONTENTS

P1	ごあいさつ	上山 直英
P2	巻頭特集	
	健やかなはじまり、希望のある未来へ	中村 安秀
P6	セミナー・イベント報告	
	1. EXPO2025大阪・関西万博イベント	吉川 健太郎
	2. 「世界マラリアの日」World Malaria Day 2025	狩野 繁之
	3. 世界禁煙デーのイエローグリーンライトアップ	野上 浩志
P14	NGO・団体紹介	
	公益財団法人アジア保健研修所 (Asian Health Institute: AHI)	清水 香子
P16	国際保健を学べる大学・大学院	
	1. 東京大学大学院医学系研究科 国際保健政策学	橋爪 真弘
	2. 国立看護大学校 国際看護学	須藤 恭子
P20	留学生日記	
	低中所得国における高齢化フロントランナーのタイで学ぶ公衆衛生	清水 ちとせ
P22	WHO職員日記	
	WHOで取り組む健康危機への備えと対応 フィリピンからの現場報告	関谷 悠以
P24	WHOニュース 4月／5月／6月	
		林 正幸
		渡部 雄一
P30	関西グローバルヘルスの集い(KGH)	
	はじまりの物語からKGH流ハイブリッド型までの軌跡をたどる	小笠原 理恵
P32	書籍紹介コーナー	
		戸田 登美子
		福井 沙織
P33	動画募集のご案内	
P34	日本WHO協会沿革／WHO憲章	
P36	WHOの地域事務局と加盟国	
P37	寄付者のご芳名／編集委員のページ	
P38	入会案内	白野 倫徳

ごあいさつ



日本WHO協会 理事
大日本除虫菊株式会社 代表取締役会長
上山 直英 (うえやま なおひで)

当社の創業者・上山英一郎は1885年、前身である上山商店を創業しましたが、当初は実家のミカンを輸出する会社として起業しました。当時の日本は積極的に海外の文化を吸収しようとしており、日本の発展を維持するための新しい技術を取り入れることに成功しながらも、害虫や疫病まで輸入してしまうという時代背景がありました。ミカン農家を営む英一郎にとって害虫駆除は大命題であり、そんな最中、殺虫効果をもつ除虫菊と出会えたことはまさに天命であったといえるでしょう。

その除虫菊との出会いをきっかけに、ミカン輸出の傍ら、日本で古くから被害に悩まされていた蚊への対策品を発明し、その後ハエ・シラミ・ノミといった、時代の流れに合わせて出現する新たな害虫との戦いを続けてきました。

近頃ニュースなどでもよく取り上げられているトコジラミ（ナンキンムシ）は、江戸時代に外国船を買った時に入ってきたという記録があります。衛生状態の改善や殺虫剤などの技術進歩により、昭和30年代に一度落ち着きをみせたものの、近年、都市部を中心とした宿泊施設や住宅への侵入・定着が報告されています。トコジラミは一度発生すると駆除が困難なことも多く、また衛生上だけでなく、社会的・経済的にも大きな影響を及

ぼす可能性もあることから、早期発見と適切な対応が求められています。また、日本では消滅したと言われていたデング熱が、60年ぶりに流行したことありました。

このように、被害の減少が見受けられた害虫でも、時代の流れによって再度問題になることもあります。海外との交流には予想外の課題はつきものです。こうした変化にも柔軟に対応し、適切な情報を共有しあうことが今後ますます重要になってくるでしょう。

WHOの憲章に「ひとつの国で健康の増進と保護を達成することができれば、その国のみならず世界全体にとっても有意義なことです。（日本WHO協会 訳）」と書かれています。日本で発明された蚊取り線香から殺虫剤産業がはじまり、そしてその殺虫剤は日本のみならず世界にひろがり、各国の健康的な生活を維持するために欠かせない製品となりました。当社が長年培ってきた知識や技術は、まだ見ぬ害虫への脅威にも必ず対応できると信じています。引き続き皆様の健康と健やかな生活の一助となれるよう、努めて参りたいと思います。

2025年10月